

遠隔講義室 205

テレビ会議システム簡易マニュアル

総合情報コラボレーションセンター

2018年4月11日 作成 第3版

【準備編】 Page 2

1. 事前準備

2. 電源操作(電源の入れ方)

【操作編】 Page 4

3. プロジェクターに映像を投影する

3-1 スイッチャー操作

4. テレビ会議システムで映像を送信する

4-1 送信する映像を選択する

4-2 相手へ発信する

4-3 音声操作

5. カメラ操作

5-1 講師 / 生徒カメラ用操作

5-2 操作卓監視用モニター

6. 録画装置

6-1 録画ソース選択方法

6-2 録画方法

【終了編】 Page 9

7. 電源操作 (電源の切り方)

【巻末】 Page 10

8. 録画映像、テレビ会議送信映像 パターン表

9. 機器情報

10. 録画装置 取扱説明書 抜粋

【準備編】

1. 事前準備 (プロジェクター用スクリーンの昇降操作、プロジェクターの電源を入れる。)

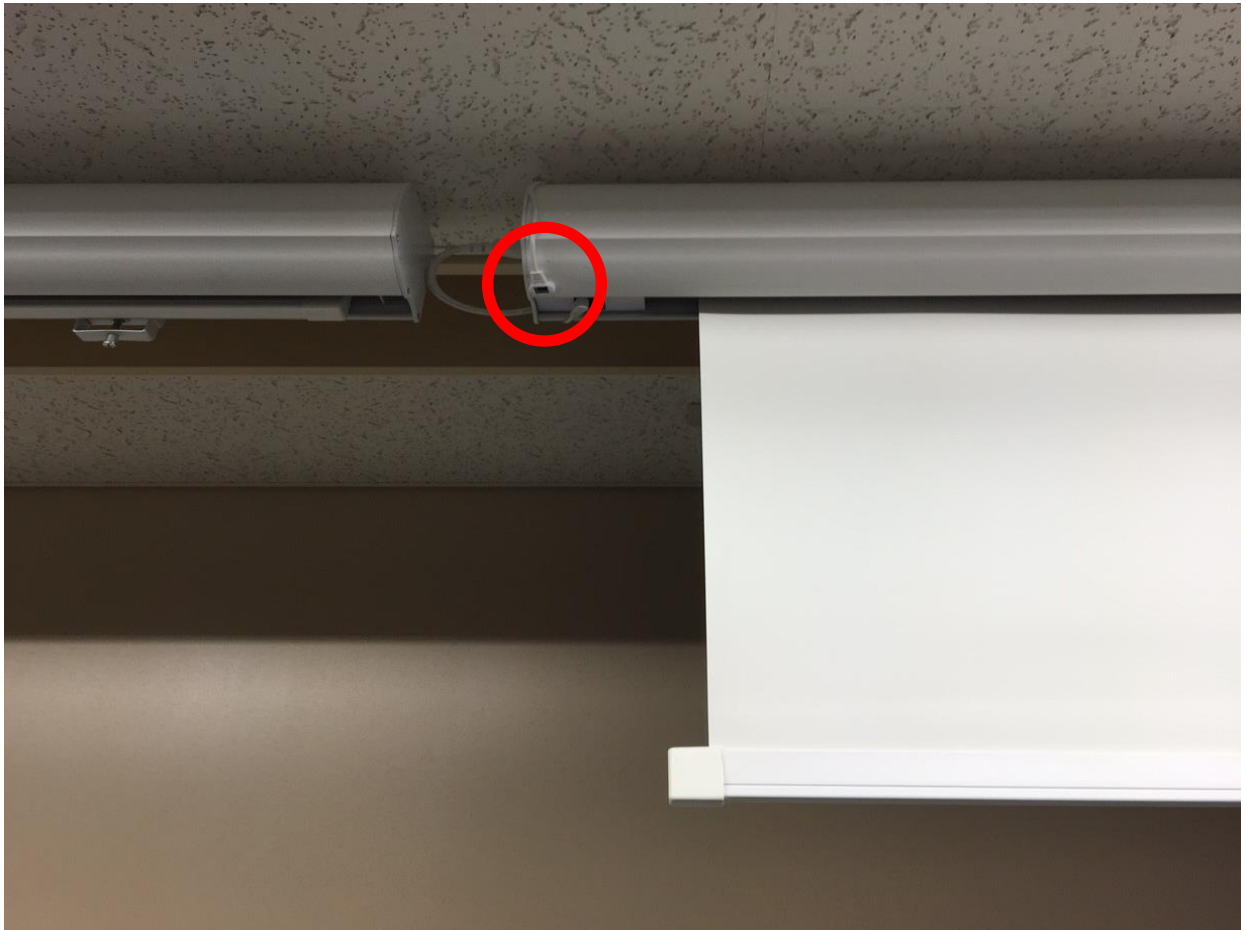


スクリーンの昇降は
このリモコンを使用します。



プロジェクターは
このリモコンを使用します。
(左右ともに同一のリモコンで
操作可能)

ON: ON
OFF: Standby

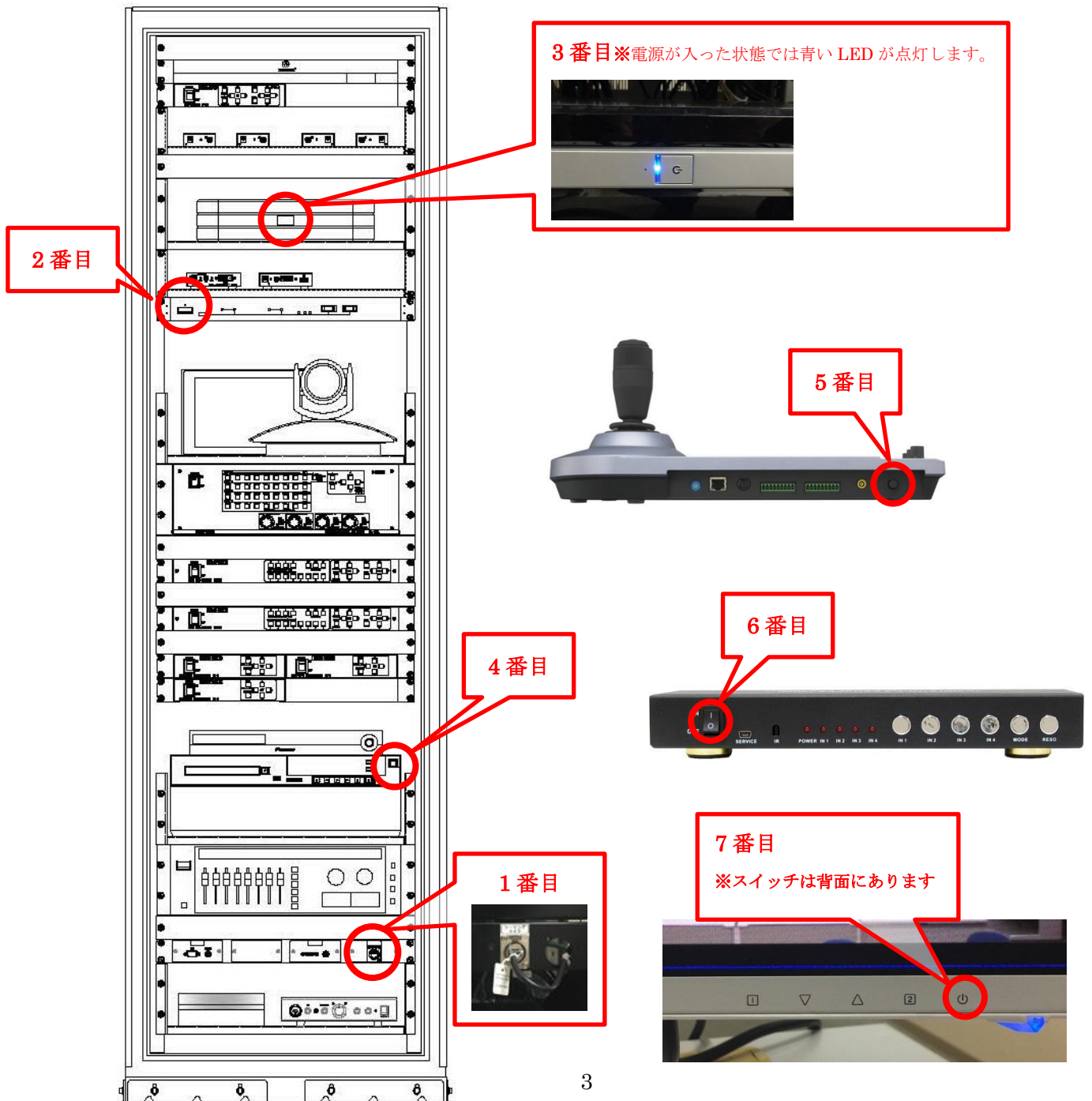


部分がリモコンからの赤外線信号受光部になります。
ここにリモコンを向けて操作して下さい。

【準備編】

2. 電源操作（電源の入れ方）

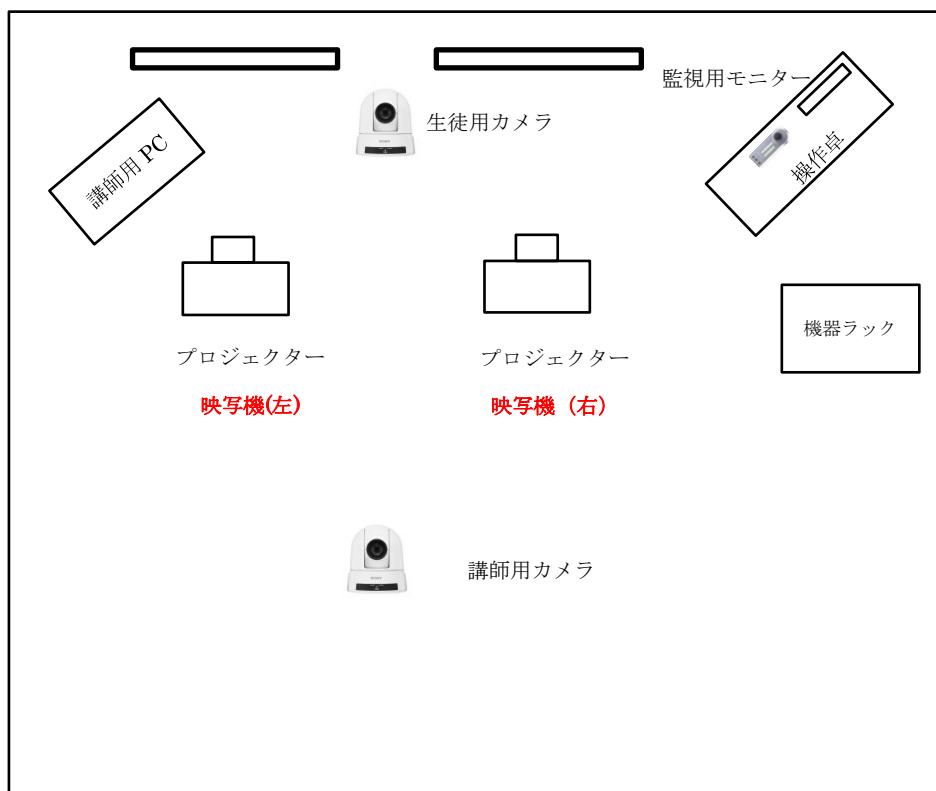
- ① テレビ会議システムでシーリングマイクを使用する時はコネクタが挿入されている事を確認する。
- ② パワーディストリビューターの電源を入れます。
- ③ テレビ会議システムの電源を入れます。
- ④ 録画装置を使用する場合は「4番目」の装置の電源を入れます。
- ⑤ カメラ操作パネルの電源を入れます。
- ⑥ 操作卓にあるマルチビューワの電源を入れます。
- ⑦ 操作卓にあるモニターの電源を入れます。



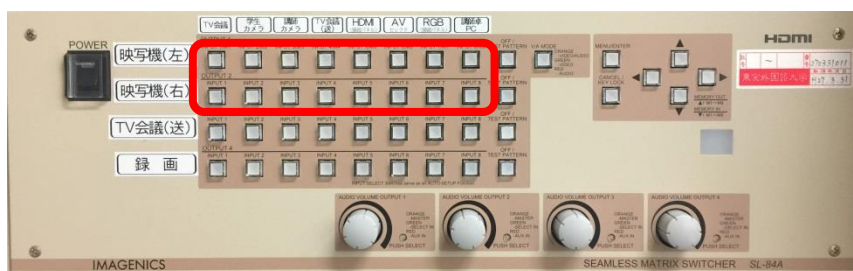
【操作編】

3. プロジェクターに映像を投影する

3-1 スイッチャー操作



機器ラックに実装されているスイッチャーでソースを選びます。



赤枠で囲ったボタンからプロジェクターで投影したい映像を選択します。

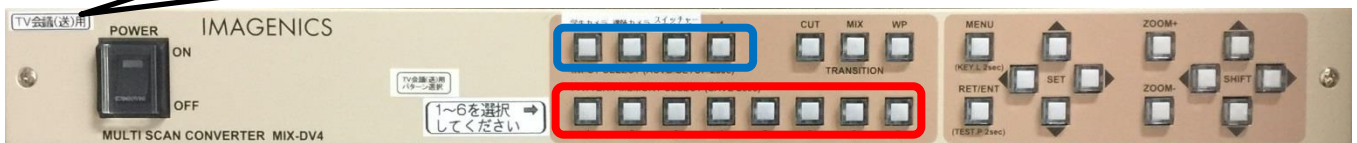
【操作編】

4. テレビ会議システムで映像を送信する

4-1 送信する映像を選択する

テレビ会議システムで送信する映像を選択する。

※ TV 会議（送）用の機器を操作する事！



青枠で囲ったボタンから TV 会議システムで送信したい映像を選択します。

マルチ画面で送信したい場合は赤枠で囲ったボタンを押します。

※画面分割パターンに関しては巻末の「パターン表」を参照

1画面とマルチ画面の切替

赤枠内のボタンの何れかが点灯している場合は、オレンジに点灯しているボタンを押し、赤枠内のボタンを消灯させた状態で青枠内のソースを選択します。

4-2 相手へ発信する

注：リモコン操作は機器ラック内の  へ向けて操作して下さい。



○のボタンを押し、相手のアドレスを入力する。

【参考】

1対1で接続する場合

・東京外国語大学側アドレス： 202.13.5.188

多地点で接続する場合

・東京外国語大学多地点サーバ： 202.13.5.243##0000

切断する場合は○を押す。

【操作編】

4-3 音声操作

- テレビ会議で送信される音声
1. シーリング マイク
 2. ハンドマイク
 3. スイッチャーの各出力へ選択されている入力ソースの音

シーリング マイク . . . 天井に設置されているマイクです。大変感度がよく、通常 会話する音量で十分です。使用したくない場合は下記にある線を抜くとシーリング マイクを **OFF** にできます。



- ※ 1 コネクタを抜く場合はシステムの電源を入れたまま **OFF/ON** をしないで下さい。故障の原因となります。
(システムの電源を入れた後に **OFF** にしたい場合は、システムの電源を落としてからお願いします。)



- ※ 2 シーリング マイクの音は室内のメイン スピーカーからは出力されません。シーリング マイクをモニターする場合はラック内に設置されておりますアクティブ スピーカーで行えます。(スピーカーの音は全ての音声が入力されている録画装置から出力しておりますので、音声をモニターする時は録画装置を使用しない場合でも電源が入っている事をご確認ください。)

テレビ会議の入力音声の調節

機器の出力バランスは調整されております。もしテレビ会議の相手側で受信している音声小さい(大きい)場合は相手側で調整してもらうようにお願いします。

テレビ会議の出力音声の調節

テレビ会議のリモコンボタンにありますボリュームボタンで調整するようにお願いします。

重要：ミキサー等の機器を操作し、音量を調整した合は終了時に

必ず元に戻して下さい。

【操作編】

5. カメラ操作

5-1 講師 / 生徒カメラ用操作



操作パネル背面にある  の電源を入れます。

注：システムの電源を入れた後（カメラの電源が入った後）に操作パネルの電源を入れてください。



操作するカメラを  のボタンで選択します。

1. 講師カメラ / 2. 生徒カメラ


スティック上部のダイヤルを右に回すとズームアップ、左に回すとズームアウトします。

5-2 操作卓監視用モニター



4分割表示時に生徒カメラ / 講師カメラ / テレビ会議受け（接続先から送られてくる映像） / テレビ会議送り（接続先に送っている映像）を常時監視する事ができます。



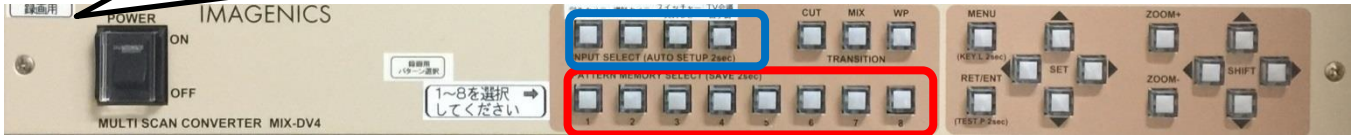
 のMODE ボタンを押す事で4分割表示から単体表示の切り替えが行えます。単体表示時はIN1～4を選択する事でそれぞれの映像を単体で監視する事が出来ます。

【操作編】

6. 録画装置

6-1 録画ソース選択方法

※ 録画用の機器を操作する事！



青枠で囲ったボタンから録画したい映像を選択します。

マルチ画面で録画したい場合は赤枠で囲ったボタンを押します。

※画面分割パターンに関しては巻末の「パターン表」を参照

1画面とマルチ画面の切替

赤枠内のボタンの何れかが点灯している場合は、オレンジに点灯しているボタンを押し、赤枠内のボタンを消灯させた状態で青枠内のソースを選択します。

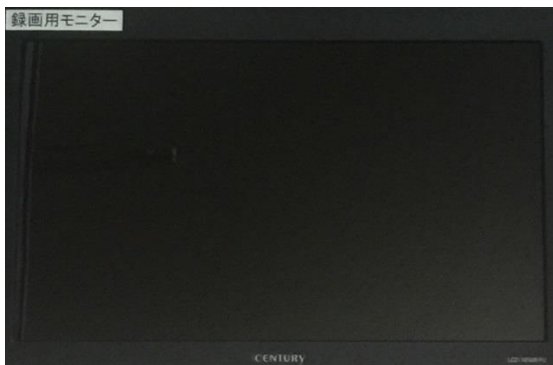
6-2 録画方法

赤枠の録画ボタンを押して録画を行います。

録画が開始されると録画の経過時間が表示窓に表示され、「HDD REC」が赤く点灯します。



録画の確認はラック内にある録画用モニターとアクティブスピーカーで確認します。

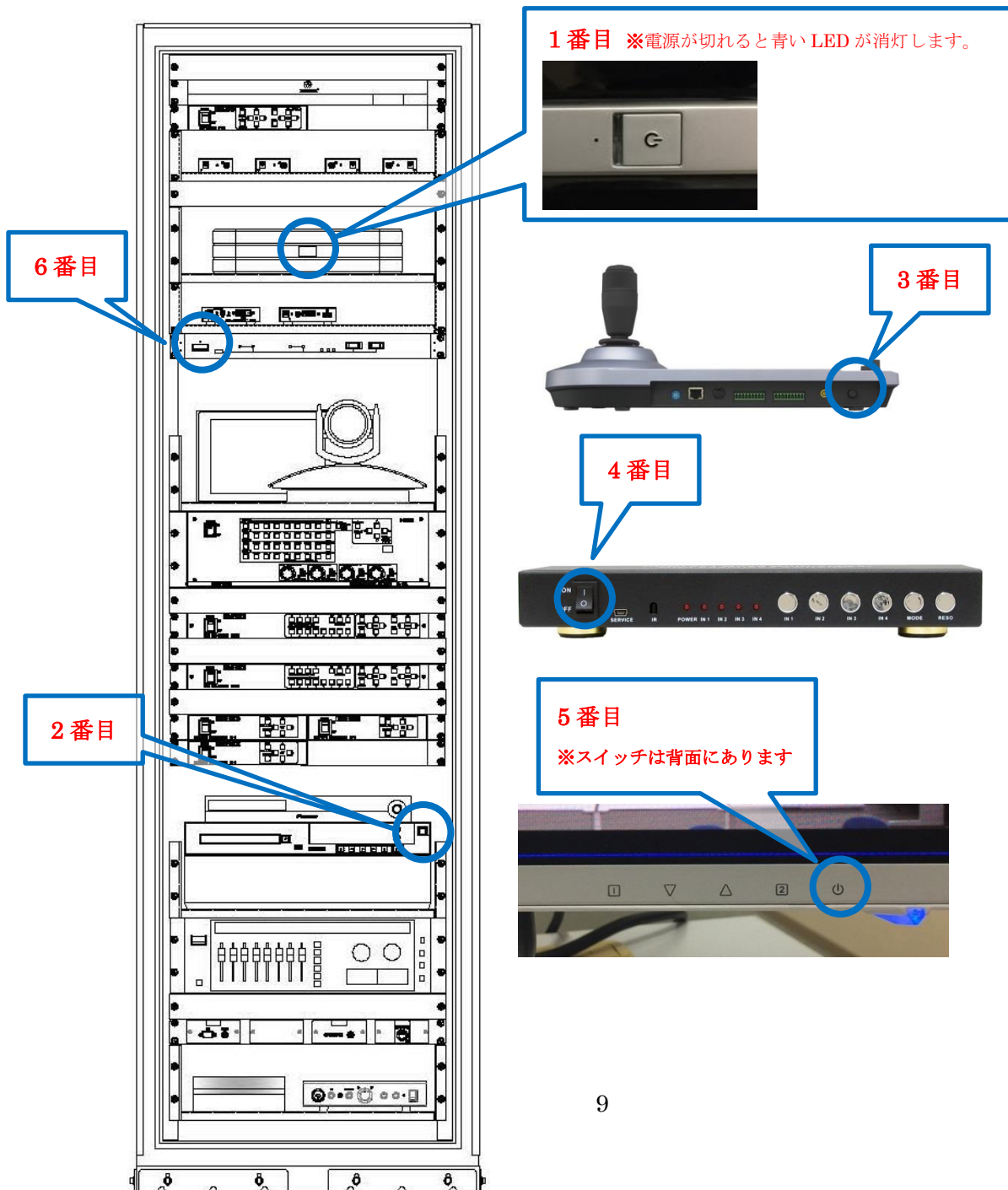


この録画装置は不特定多数の人が使用します。
HDD に録画したコンテンツは
速やかにリムーバルメディア (DVDや Blue Ray Disc) にダビングをお願いします。
また機密性のあるコンテンツに関しては
ダビング後、HDD内の該当コンテンツを
削除するようお願いします。

【終了編】

7. 電源操作（電源の切り方）

- ① テレビ会議システムの電源ボタンを長押し、電源を落とします。
- ② 録画装置の電源を落とします。
- ③ カメラ操作パネルの電源を落とします。
- ④ 操作卓にあるマルチビューワの電源を落とします。
- ⑤ 操作卓にあるモニターの電源を切ります。
- ⑥ パワーディストリビューターの電源を切ります。
- ⑦ プロジェクターの電源はリモコンを使用し切ります。
- ⑧ スクリーンはリモコンを使用し元の位置に戻します。

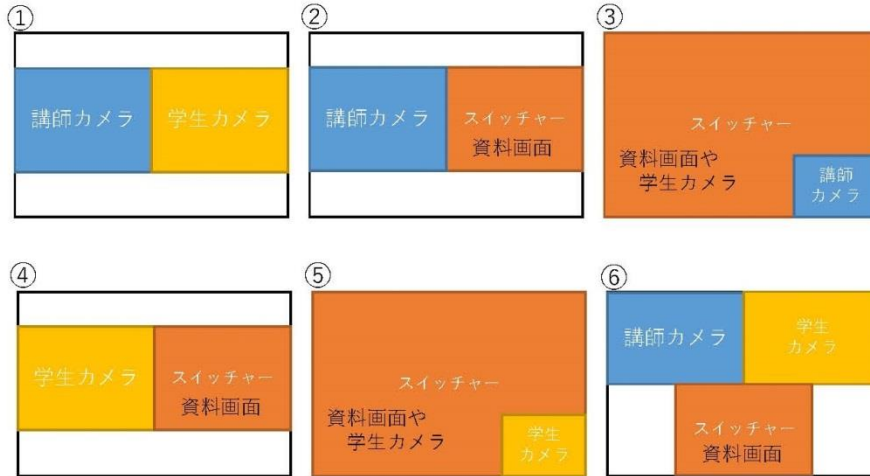


【巻末】

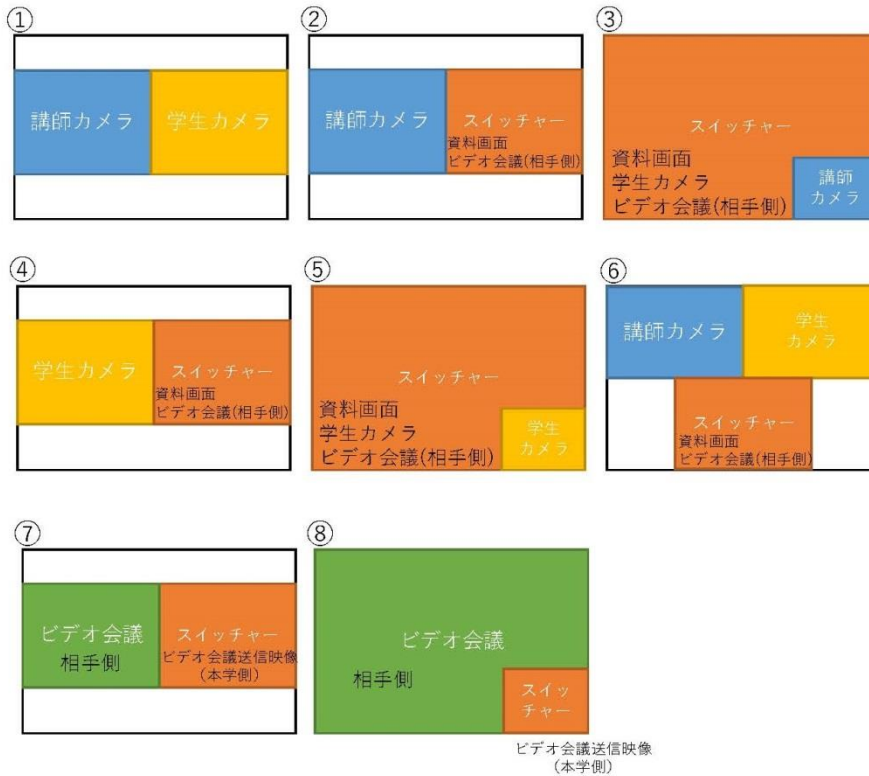
8. 録画映像、テレビ会議送信映像 パターン表

<画面合成パターン> 2018/3/2

ビデオ会議(送)用



録画用



【巻末】

9. 機器情報

機器名 : Polycom HDX-7000

IP アドレス : 202.13.5.188

多地点サーバー機器名 : Polycom RMX 1500

多地点サーバアドレス : 202.13.5.243##0000

室内固定電話 : 042-330-5411

注 : 固定電話を使用する場合は事前に情報化支援室で鍵を借りる必要があります

連絡先 : 情報企画室
内線 5160

メモ